

これからの エコ学区

-

「学習会」「くらしの匠」「うちエコ診断」を受けられます!

学習会

～環境について考えよう!～

くらしの匠

～グループで省エネ!～

うちエコ診断

～各家庭で省エネ!～

DO YOU KYOTO?

この言葉を御存知でしょうか？「環境にいいことしていますか？」という意味で、世界中に広まりつつあります。京都議定書誕生の地である京都は「環境にいいことをする」という意味で語られるようになりました。



発行 京都市環境政策局地球温暖化対策室 【電話】075-222-4555 【FAX】075-211-9286

制作 **エコ学区サポートセンター**（財団法人京都市環境事業協会）【電話】075-641-3686 平日10～18時（土・日・祝日除く）

この事業は家庭ごみの有料指定袋収入が使われています。

エコ学区かいらんばん 第1号

～これまでのエコ学区・これからのエコ学区～



工口学区とは？

「エコ学区とは！」
京都市では、「地域ぐるみでエコ活動を推進します!」と宣言し、エコ活動を行っていただく「エコ学区」を応援します! 平成27年度までに、市内の全222学区が「エコ学区」となり、環境にやさしいライフスタイルへの転換や温室効果ガスの削減を目指します! 同時に、エコ活動を通じて、将来にわたって地域住民が支え合い、安心して快適に暮らすことができる地域コミュニティの実現を目指します。

エコ学区かいらんばん 第1号 ～これまでのエコ学区・これからエコ学区～

- エコ学区とは？ ● 学区全体でエコに取り組むと… ● こんなことができます

[illegible]

これまでの エコ学区



モデル学区とは？ その1

平成23・24年度に、各区・支所から1学区ずつ、山科区は全学区がモデル学区として、地域実験や省エネ診断（くらしの匠事業又は、うちエコ診断事業）等、地域ぐるみのエコ活動に取り組んでいただきました。
地域ぐるみのエコ活動を2回（次号）に分けてご紹介します。

紫竹学区（北区）

「フリーフリーマーケット」 ～ Free Flea Market ～

平成23年度には、衣服の無料交換会や古着のファッションショー等を、紫竹^{エコ}フェスタとして開催！リデュース・リユース・リサイクル（3R）の大切さを訴えました。当日は大雪でしたが、会場はたくさんの来場者で賑わいました。平成24年度は、紫竹小学校の児童たちも参加し、新聞バッグの販売やエコ標語の発表なども行い、多世代が楽しみました。平成26年2月にも開催予定です。



春日学区（上京区）

「春日エコタウン情報の発行」 ～ 世代間の情報交換 ～

これまで取り組んできた地域ボランティアによる高齢者訪問と連携し、多世代のエコ情報を収集した冊子「春日エコタウン情報」を作成！各戸に配布し、世代を超えたエコの「知恵」の共有化を図りました。冊子には、エコ活動の場所や実施日を記載した「春日学区エコマップ」や日々のエコライフを確認するエコライフチェックシートを掲載し、各家庭で保存して使用していただけるように工夫しました。



松ヶ崎学区（左京区）

「地域でできる里山整備」 ～ 木材の地産地消を目指して ～

地域にある里山の恵みを有効活用！里山の理想の姿や保全のあり方を検討するため、パネルディスカッションを開催。里山の現状について認識を深めた後、子どもと一緒に里山整備を体験し、間伐材をどんどこ焼きやシイタケの栽培に活用しました。

松ヶ崎学区内の宝ヶ池では、松ヶ崎小学校の児童も参加し、水の浄化活動などにも取り組みました。



朱雀第四学区（中京区）

「グリーンカーテンから育む地域の絆」 ～ 朱四の種子 ～

ゴーヤのグリーンカーテンに挑戦！収穫したゴーヤを使って、子どもたちとお好み焼きやプリンをエコクッキング！冬は茎と葉の堆肥化なども行い、1年を通してグリーンカーテンに取り組みました。

平成25年度にもグリーンカーテン講習会を開催し、ゴーヤの植付けや育成方法について多くの学区住民が学びました。



今熊野学区（東山区）

「『いまえこ講座』の開講」 ～ いま=今熊野+今ここからはじめるエコ ～

「男のエコ料理」・「間伐材で楽器を作ろう！（子ども向け）」・「冬の省エネ講座」の3講座を開催！今熊野小学校を拠点にエコ学習を行いました。

エコ料理と間伐材を活用した楽器作りを同日に開催し、食事と演奏と一緒に楽しむなど、多世代交流が実現しました。



山科区全学区

「山科 ECO 新聞の発行」 ～ 地域のエコ活動 ～

各学区で日ごろから継続的に取り組んでいる活動を取材した冊子「山科eco(エコ)新聞」を発行！身近なエコ活動への気づきと地域ぐるみでの活動の素晴らしさを発信しました。

それぞれの地域で行われている活動は多種にわたり、エコミュージカルやフリーマーケット、落ち葉の堆肥化に緑化活動など、様々な活動を紹介することができました。冊子にはそれぞれの活動によって削減できる二酸化炭素量も掲載しました。



有隣学区（下京区）

「生ごみダイエット実践体験」 ～ 水切りチャレンジ ～

日常生活で出される生ごみに着目し、水切りを中心に、生ごみの様々な減量方法を体験！参加者は、水分が約8割を占めると言われている生ごみについて「生ごみにしない」、「ぬらすない」、「水切りを徹底」、「乾燥させる」の4ステップを実践し、新たな工夫も提案されるなど熱心に取り組みました。

